SMAC サイドカントリー＆バックカントリー セッション/ツアー Q＆A

皆さんの不安や疑問にお答えします。

Q：サイドカントリーってなんですか？
A：スキー場ではない山岳エリアでの滑走をバックカントリーといい、バックカントリーエリアとスキー場の間をサイドカントリーエリアと位置づけています。コンディションは、自然のままの状態で施設管理されていない場所となります。
Q：オフピステってなんですか？
A：スキー場のエリア外、管理区域外のことです。オフピステ＝新雪、深雪だけではなく、様々な雪質があります。スキー場の整地されていないコースという意味ではありません。
Q：新雪での滑走経験があまりないのですが参加できますか？
A：可能です。パラレルで滑走できれば、あとは「やる気」次第です。参加者に合わせたラインを選んでエスコートしていきます。徐々に慣れていくことにより、滑走がとても楽しくなります。
Q：深雪が苦手ですが大丈夫ですか？
A：足元を沈めいていく操作と浮き上がる感覚に徐々に慣れることが必要です。参加者に合わせたエリアへご案内します。足元にぶつかる雪のブレーキ感と左右のバランス感覚を体感しながら上達しましょう。
Q：パウダーはいつ行けば滑ることができますか？
A：かぐらは、12 月下旬から 2 月中旬の期間がお勧めです。特に 1 月中旬から 2 月上旬は 90%の確率でノートラックパウダーに巡り合えます。3 月もタイミングが合えばパウダーに当たります。
Q：いつでもノートラックなんですか？
A：基本的にはシュプールのついていない「ノートラック」のエリアへご案内しますが、状況によっては、そうならない場合もあります。地元に住んでいるからこその、その日のベストポイントへエスコートできます。
Q：あまり体力に自信がありません。どのぐらいのハイクアップがありますか？
A：基本的にリフトを最大限活用して滑ります。時期とコンディションによりやむを得ず登る場合があります。詳しくは「ハイクアップチャート」でご確認ください。できるだけ登らずにたくさん滑ります。
Q：携行品や装備品を持っていないのですが、大丈夫ですか？
A：サイドカントリーセッションでは必須携行品と、場合によってはシールを携行します。レンタルもありますのでご安心ください。バックカントリーでは、特別携行品を追加携行する場合があります。装備品についてはお問合わせください。
Q：雪崩は実際に起きますか？
A：いつでもではありませんが、起こる可能性はあります。危険な場所は事前に回避し、慎重に予測判断を行ないます。行動中に、予測判断についての知識の伝達としてケーススタディを実施します。また、セルフレスキューについての講習も行ないます。
Q：車がないのですが、日帰り参加できますか？
A：セッションは特別なツアーを除いてすべて 1 日単位（週末セッションも）での参加となります。平日は連続受講も可能です。週末セッションは、朝のスタートが早い為、電車でお越しの場合は、前泊していただいています。荷物などの宅急便の受け取りや発送もできます。また、道具のお預かり（条件あり）もできます。お気軽に電車でお越しください。
Q：1人でも参加できますか？
A：ほとんどの方が1人での参加です。安心してご参加ください。
サイド＆バックカントリーのフィールドでは遭難事故も発生しています。決して安易なパウダーエリアではありません。特にバックカントリーに行かれる際には、一人ではなく、必ず仲間と行動しましょう。そして、全員が、安全装備を身につけ、十分な知識を持ち、保険に加入していることを確認して下さい。アドベンチャーには必ずリスクが伴います。もし不安を抱えているのであれば、まずはコーディネーターと一緒に始めてみましょう。
この他、わからないことがありましたら、何でもお問い合わせください。また、使用品などに関するご相談もお答えできる範囲でお話させていただきますので、お気軽にご連絡ください。